

##3 2024.7.1

事前配布版 (2024.4.1)

第47回 全国建築板金競技大会

課題 及び 審査基準 (抜粋)

<建築技術の部>

2025年3月1日(土)・2日(日)

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会
全日本板金工業組合連合会

第47回 全国建築板金競技大会

建築技術の部 課題

2024年4月1日出題

◇下記に示す条件に沿って、施工図・説明文を作成しなさい。

1. 競技時間

施工図作成 : 4時間

※図面作成に要する競技時間

2. 支給する材料

品名	数量	寸法・規格
セクションペーパー	2枚	A2(594mm×420mm) コクヨ ホー17N
タイトルシール	2枚	• ゼッケン番号、作図者、図面タイトルなどの記入用

3. 仕様

- 当日支給するセクションペーパー (A2版 594×420 mm) 2枚に、描いていただきます。
- 描く内容については1枚目、2枚目の指定はありません。

カタログや文献等の資料の持ち込みは可能ですが、競技開始前に

各自バッグ等に収納して頂きます。

ドラフターやパソコン類・電子辞書（辞書）の、競技会場への持ち込みも

一切禁止します。

また、競技中のPDA(携帯情報端末・スマートフォン・スマートウォッチ等含

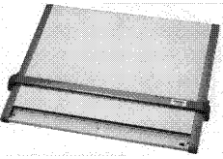
む)使用は禁止します。

製図板・T定規・テンプレート等への書き込み等は一切禁止します。

◎本年度課題の趣旨説明

- ・ 今回は、2世帯住宅を希望される御施主様のリノベーションです。
使用材料は世帯感を重視した企画・設計をして頂きたいと思えます。
*メーカー及び形状は、指定致しません。
- ・ 今回の課題では「責任施工保証制度」保証書を発行して頂きます。
それを踏まえて、選手の皆様は責任のもてる施工図を作成して頂きたいです。
- ・ 製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の描き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます。
- ・ 各所納まり・ビスピッチ等は、全日本板金工業組合連合会発行の冊子「建築板金施工法—金属屋根施工篇—」の要領に基づいて描いてください。

4. 選手が持参するもの(※は使用禁止なもの)

品名	備考
製図板 または 平行定規	<ul style="list-style-type: none">● <u>会場では準備をしておりませんので必ず持参して下さい。</u>● 製図板を傾けるための台は認めます。● 平行定規は使用できます。  <p>(平行定規付き製図板の例)</p>
T定規	<ul style="list-style-type: none">● <u>会場では準備していません。</u>

製図道具一式	<ul style="list-style-type: none"> 選手各自、持参して下さい。 音の出る電動芯削りなどは使用不可
※ドラフター類	<ul style="list-style-type: none"> <u>使用できません。</u>
電卓類	<ul style="list-style-type: none"> 関数計算機能付電卓使用は可とします。
※パソコン類	<ul style="list-style-type: none"> <u>使用できません (PDA タイプ、タブレット類などを含む)。</u>
マスキングテープ	<ul style="list-style-type: none"> 図面押さえ用
パース図	<ul style="list-style-type: none"> 大会当日に1枚仕上げて持参してください。また、パース図は、屋根材・壁材の仕上げがわかるように、例題の図の方位と同じように作図してください。(CADによる作図可) A3サイズのもの
服装	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した服装を準備して下さい。

5. 会場で準備・配布するもの

品名	数量	備考
課題冊子	1枚	<ul style="list-style-type: none"> <u>当日再配布します。持参した課題冊子は使用不可。</u>
セクションペーパー	2枚	<ul style="list-style-type: none"> A2 (594×420 mm) コクヨ ホー17N
タイトルシール	2枚	<ul style="list-style-type: none"> ゼッケン番号、作図者、図面タイトルなどの記入用 タテ 66 mm × ヨコ 144 mm

6. 審査基準

- 5ページからの「審査基準 (抜粋)」をご覧ください。

7. 道具の送付について

道具類を事前に送付する際は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにして下さい。

(現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります)

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 「富士教育訓練センター」

TEL : 0544-52-0968 FAX : 0544-52-1336

「富士教育訓練センター気付 日板協 ○○・○○○○ (組合・氏名)」

※大会当日に届いた道具類については選手自身で事務所から体育館へ運搬していただきます。

注意富士教育訓練センターから自宅への宅急便はヤマト運輸の着払いのみとなります。

返送に係る制限があります **(3辺の長さの合計が 200 cm以内 1辺の長さが 170 cm/重量は 30 kg以内)。**

8. 課題に対する質問

- 課題に対する質問等がありましたら、**所属組合事務局または当該組合青年部長を通じて**
日板協事務局まで書面にてお申し出下さい。

FAX : 03-3456-2781 E-mail: :k.kuroki@zenban.jp

※1. 質問は出来る限り具体的に記述してください。

2. 質問内容の確認を行う場合がありますので、連絡先を明記してください。

- **質問の受け付けは 2024 年 12 月 2 日 (月) 17 時到着分まで**とします。
- **質問受付期日を過ぎた質問に対しては、いかなる場合でも回答は出来ません**のでご注意ください。また、**大会当日の質問又は異議申し立ては受け付け致しかねます。**

以上

第 47 回全国建築板金競技大会 【建築技術の部】 審査基準 (抜粋)

1) 採点の方法

採点の方法は得点法を用い、図面①、②の合計500点を満点とする。
 高得点者をもって上位者とする。

2) 採点項目及び配点

	採 点 項 目	得 点
図 面 番 号 ① ・ ②	全体 (バランス・図面の汚れ・総合)	100
	完成度 (必要な箇所が描かれているか)	100
	納まり (不具合のない納めになっているか)	100
	仕様 (使用材料の選定に問題がないか)	50
	寸法 (正しく記入されているか)	40
	線 (正しく記入されているか)	40
	文字 (正しく記入されているか)	40
	パース図・内装仕上げ図	30
	合 計	500
総 合 計		500

3) 失格事項

次の項目に該当した者は失格とする。

- 1) 競技中、不注意等により他人にケガをさせた場合。
- 2) 競技の途中で不正行為により退場を命じられた場合。
- 3) 使用を禁止されている道具等の使用が判明した場合。

4) その他

採点については審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか否かを決定する。減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

開・閉会式や道具検査への遅刻については審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

【 建築技術の部 (NYAC) 課題 】

問題

今回の課題は、2世帯住宅希望である御施主様のリノベーション計画に携わることになりました。御施主様の家族構成が老夫婦と新婚夫婦と住まれる住宅です。

老朽化した金属屋根・窯業系石膏サイディングの建物から、屋根材撤去後、新規金属屋根葺き・金属外壁へのリノベーションを希望されております。各箇所の納まり・換気対策の施工図はもちろんです。今回は御施主様（新婚夫婦さん）の希望により、内装部に板金壁の提案がして欲しいとの要望があります。以上の事を考慮して提案して下さい。

*外壁は既存材を撤去しない施工方法で提案して下さい。

*内装部の詳細図の提案を必ず加えてください。

工事概要)

- ・木造平屋建て（防火指定区域無し・日影規制無し）
 - *2世帯住宅を考慮した外観の企画提案を重視する。
- ・比較的暖かい地方の建物の為、雪止め等の処置は不要とする。（降雨量強度数を 120m m/h として排水量を定める。）
- ・既存下地が経年劣化の為かなり不陸を受けていると考えられるため、断熱材・下地材での調整も考慮して頂きます。
- ・内装壁は金属を用いた材料を必ず使用して下さい。施工箇所は洋室側の境界壁のみとさせていただきます。

主要外部仕上げ)

- ・屋根 GL カラー 鋼板 t=0.4
- ・壁 GL カラー 鋼板 t=0.4
- ・雨樋
 - 軒樋 ガルバニウム雨樋
 - 縦樋 ガルバニウム雨樋

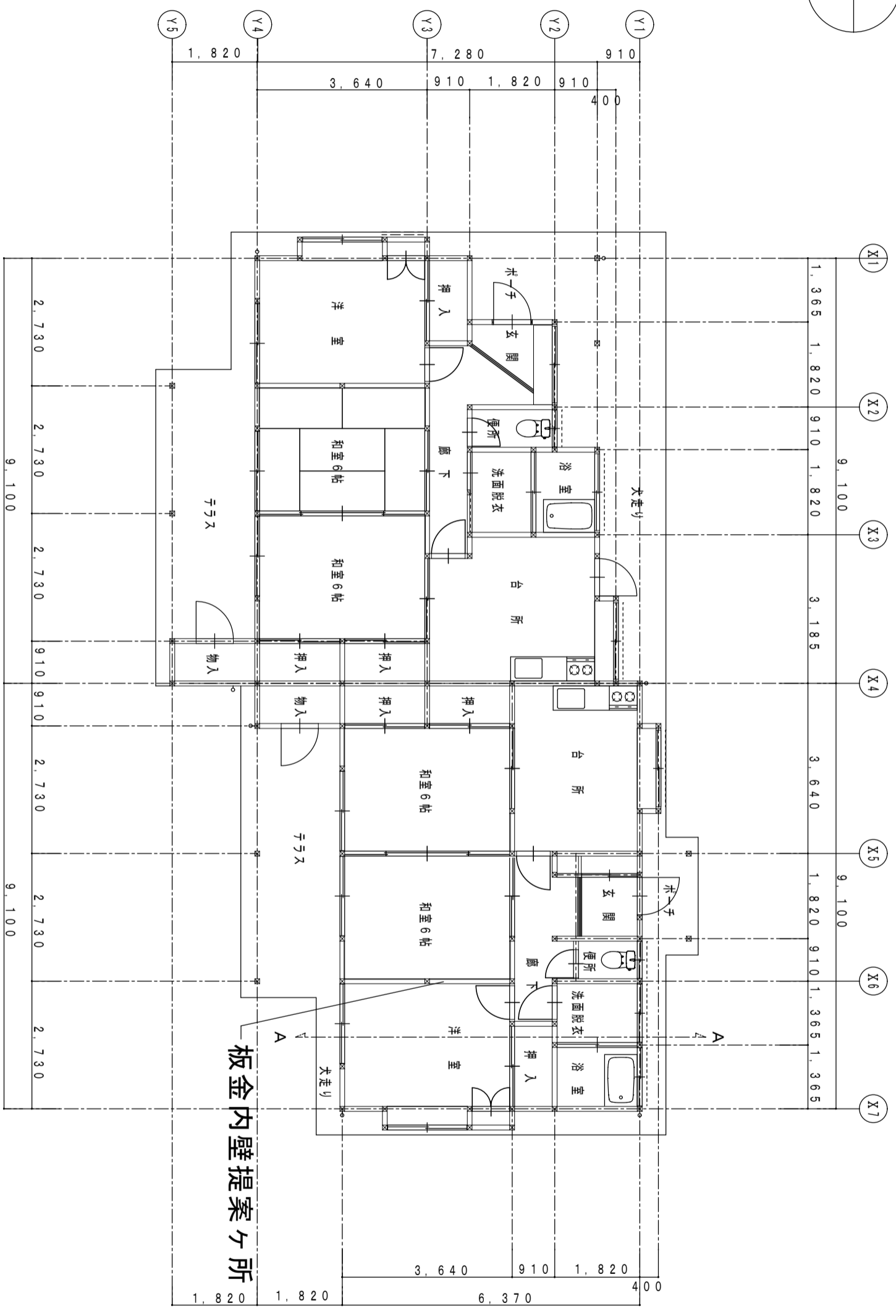
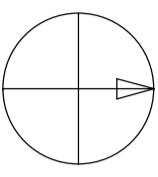
*換気材は指定しないものとする。（使用材は原則としてメーカー記載すること）

必須施工図・等)

- ・屋根下地の納め詳細
- ・屋根取合部の水切(換気材仕様)詳細
- ・棟包の詳細
- ・外壁部のコーナー詳細
- ・軒天と外壁との取合部の納まり詳細
- ・土台部通気（胴縁の納め等）詳細
- ・内装壁部の詳細図
- ・その他必要と思われる詳細図

条 件

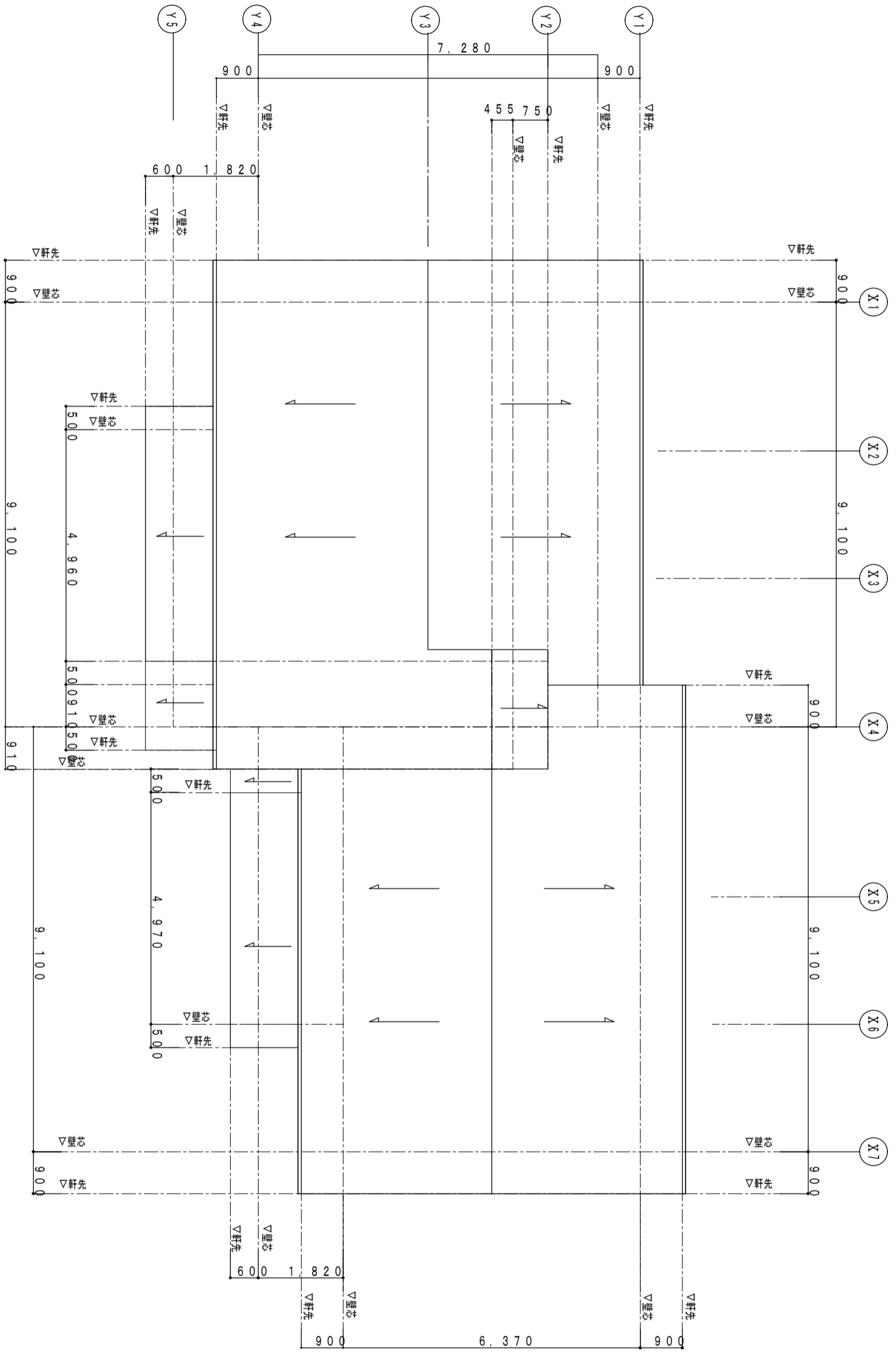
- ・ 施工図面①・②の作成については、元請けが下地の取り付け工事を行う場合の納まり図を兼ねており、自分が工事をするための図面ですので、わかりやすく、且つ自分で説明しやすい図面を描いて下さい。
但し、色付け（カラー）は禁止とします。
- ・ 納まりについては、技術提案も含め実際に自分が施工する内容の納まりにしてください。
- ・ 線の種類並びに寸法の表示位置は、審査の対象といたしますので正しく描いてください。製図総則（JIS Z 8310）並びに建築製図通則（JIS A 0150）による。
- ・ 各所納まり部の技法また寸法については、『建築板金施工法—金属屋根施工篇—』に基づいて図面を作成して下さい。
- ・ パースは事前に作成し大会当日に提出してください、角度は課題図書と同じように作図してください。当日提出する用紙のサイズはA3サイズに限定させていただきます。CADで作図したのも同じとさせていただきます。用紙の種類につきましては、指定しないものとします。
* パース図の基本データ（AutoCAD・JWCAD）は全板連ホームページからダウンロードしてください。* ダウンロードは5/1より可能となります。
* パース図への **文字記入** はしないで下さい。
- ・ 工事完了後は、(株)全日本建築板金保証センターの保証書を発行して頂きます。



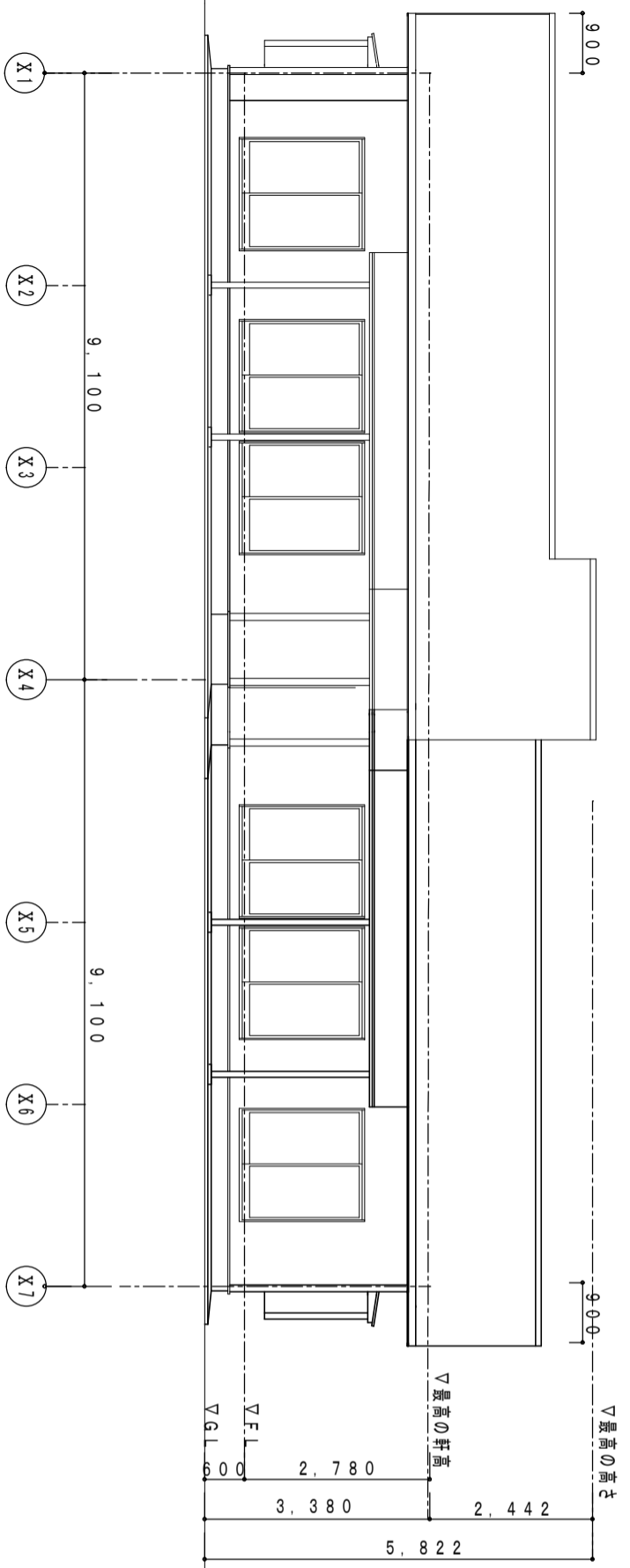
平面図 S=1/100

A-A: 断面位置を示す

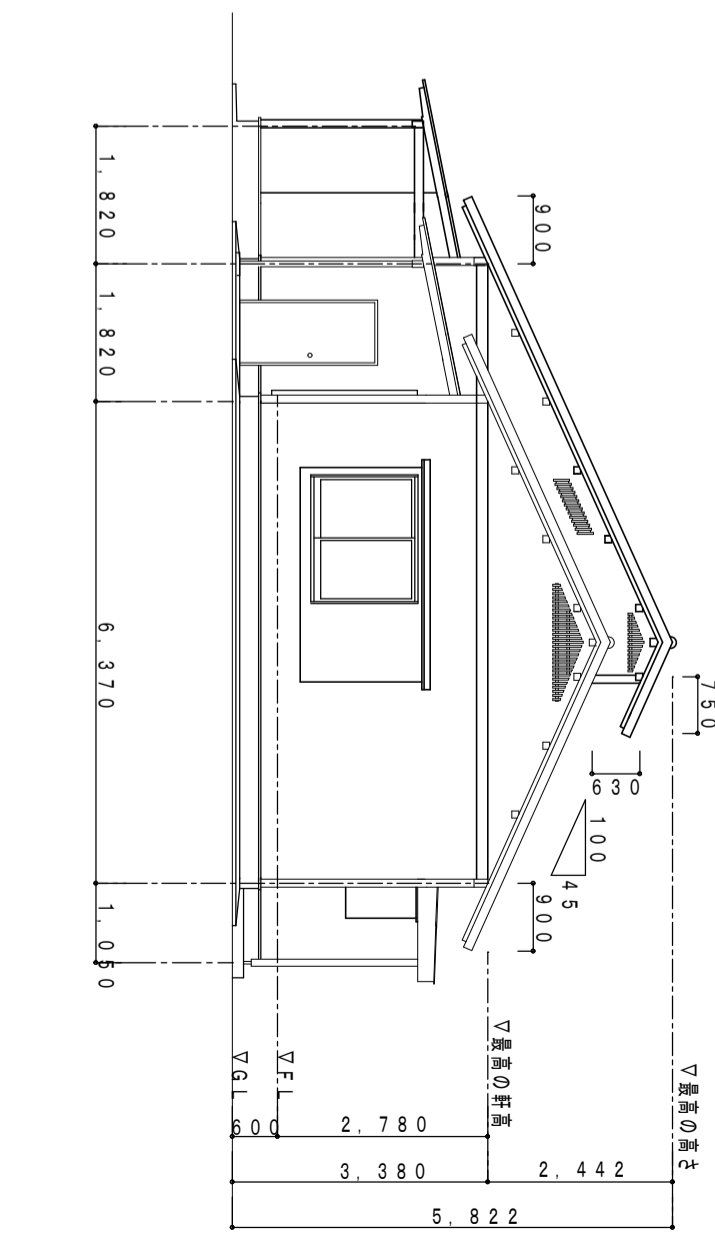
板金内壁提案ヶ所



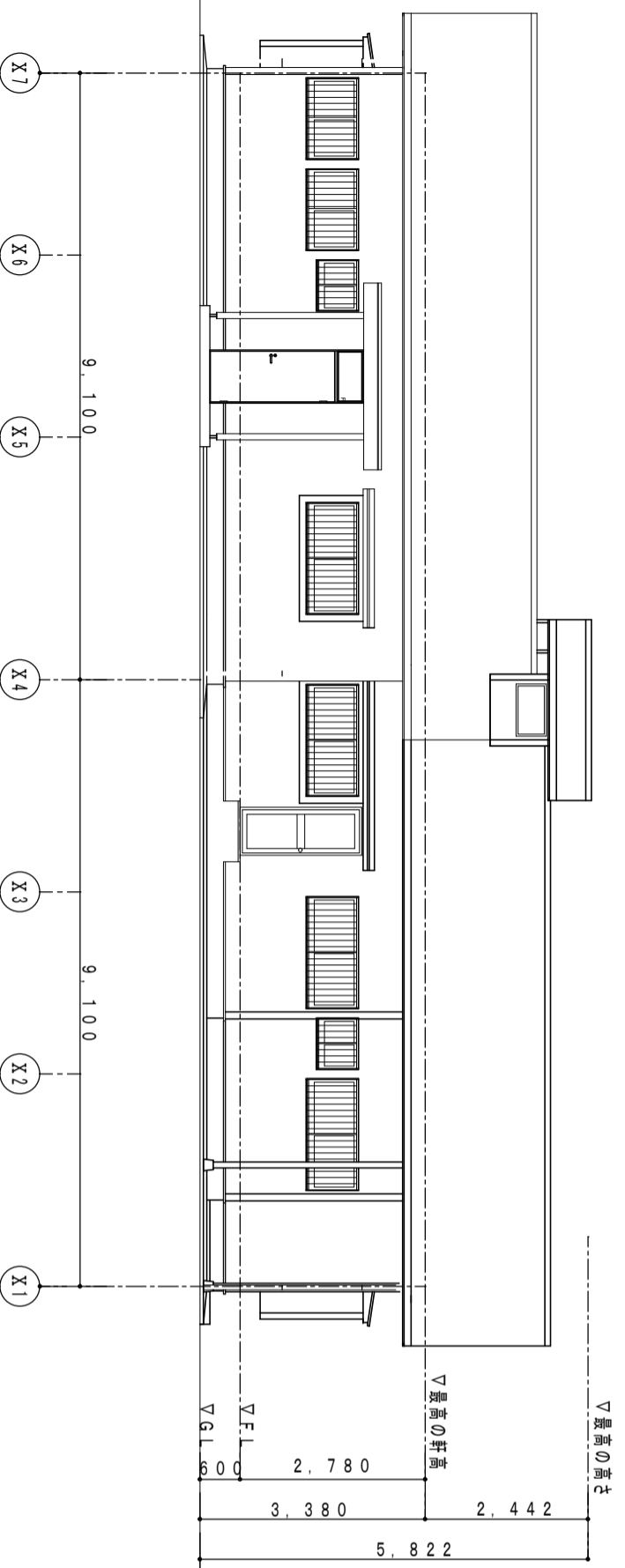
改修後屋根伏図 S=1/100



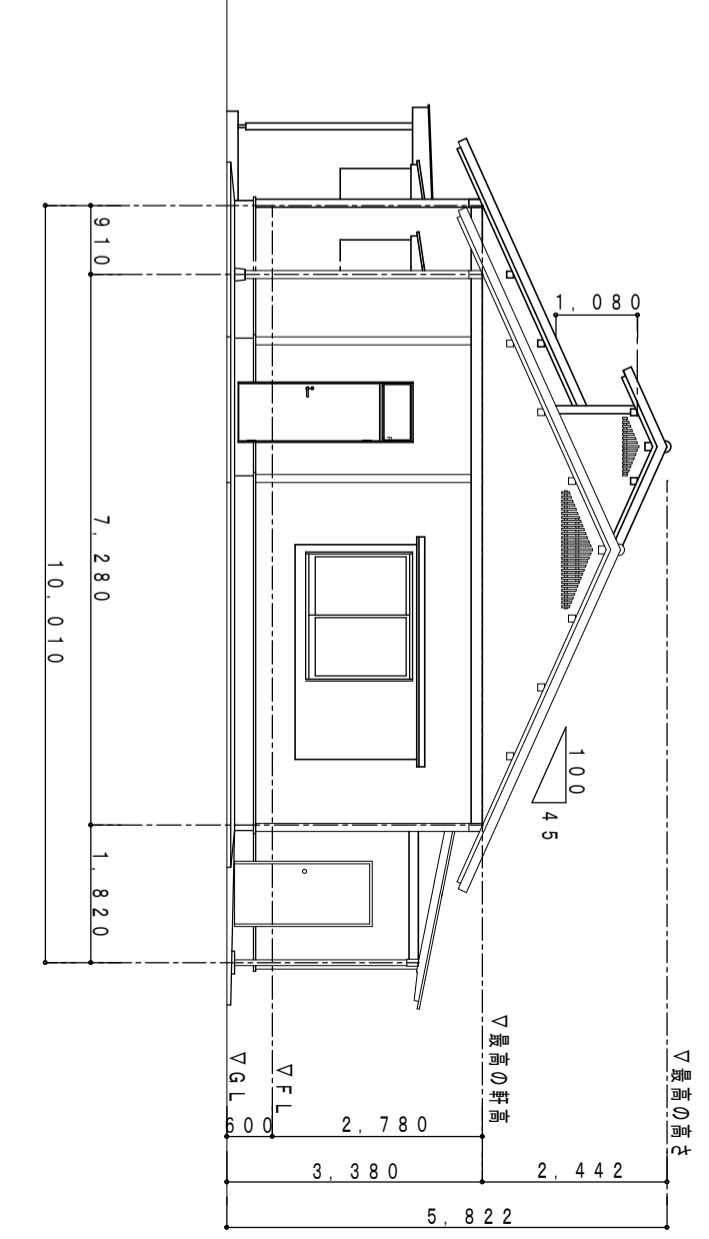
南立面图 S=1/100



東立面图 S=1/100



北立面图 S=1/100



西立面图 S=1/100

パース図 (例)

